

## 2. A-tagの設定

## A-tag システム (曳航式)

A-tag (曳航タイプ)

インターフェイス  
ケーブル



インターフェイス  
ボックス



Logger Tools



電源アダプタ(100V-240V)

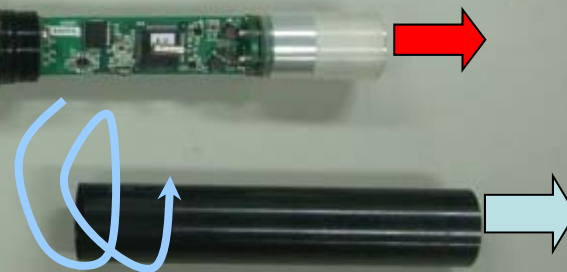


Logger Tools をお使いのPC にインストールしてください

## A-tag システム (曳航式)

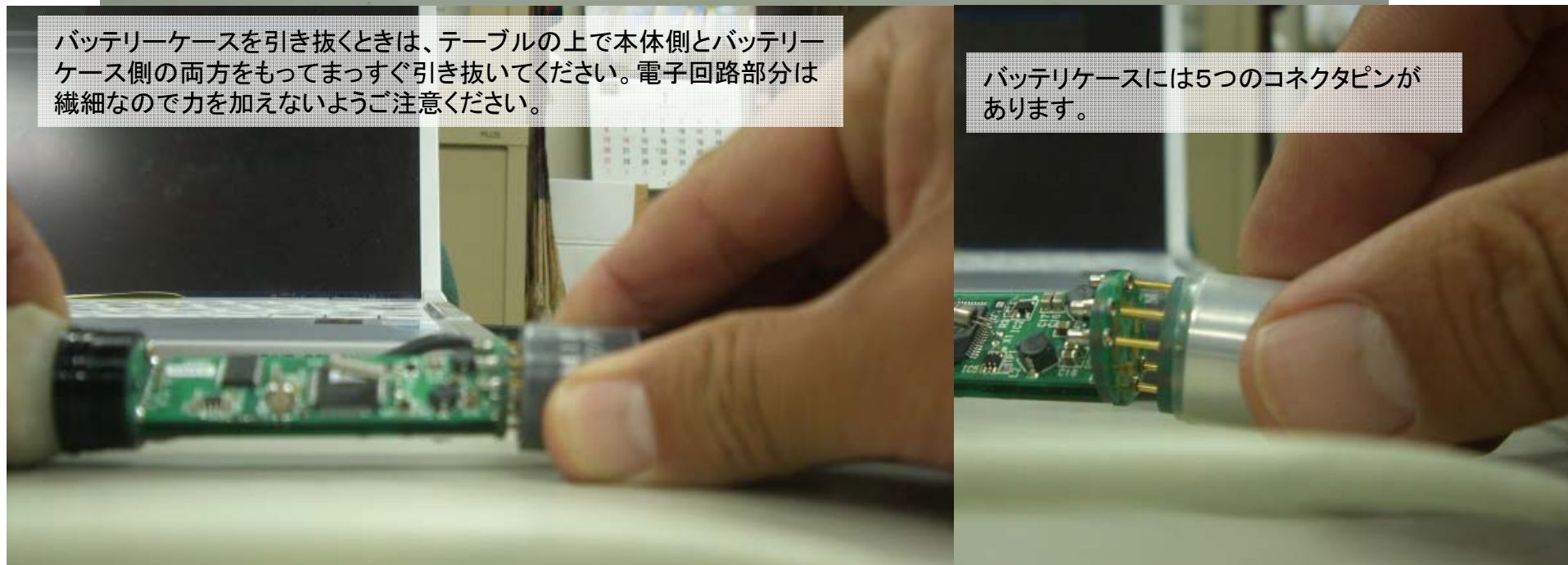
バッテリーケースをゆっくり  
引き抜きます(下説明参照)

耐圧ケースを回して外します



バッテリーケースを引き抜くときは、テーブルの上で本体側とバッテリーケース側の両方をもってまっすぐ引き抜いてください。電子回路部分は繊細なので力を加えないようご注意ください。

バッテリーケースには5つのコネクタピンがあります。



A-tag システム (定点对应) **定点型は取り扱いに追加の注意が必要です**

海水に漬けるまえにケース全体にビニールテープを巻くとよいです。赤矢印の部分



before



after

## A-tag システム (定点タイプ)

耐圧ケースを回して外します



しっかりもって、左に回します



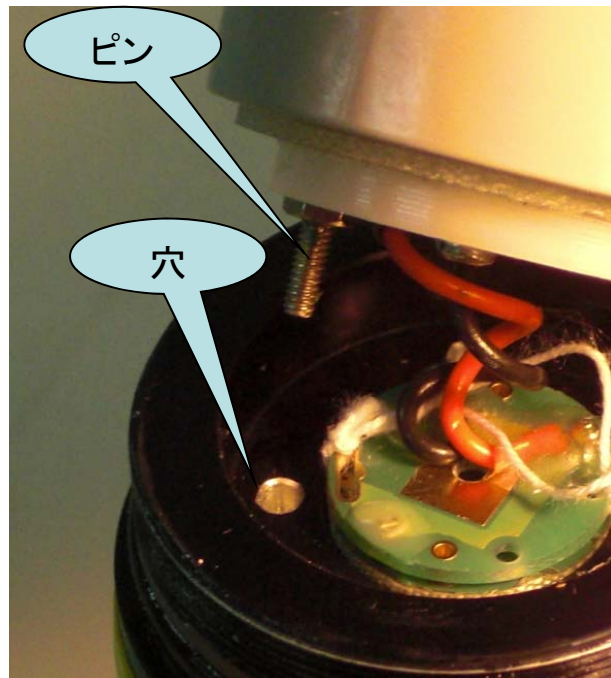
耐圧ケースをゆっくり引き抜いて  
ください

## A-tag システム (定点タイプ)

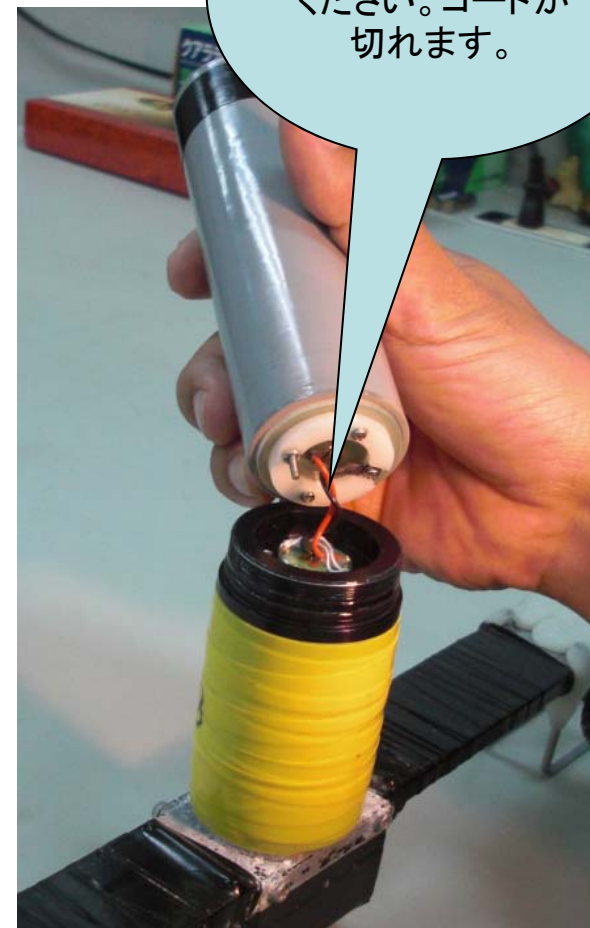
バッテリーケースを外します



バッテリーケースをもって  
まっすぐ上にゆっくり  
持ち上げます



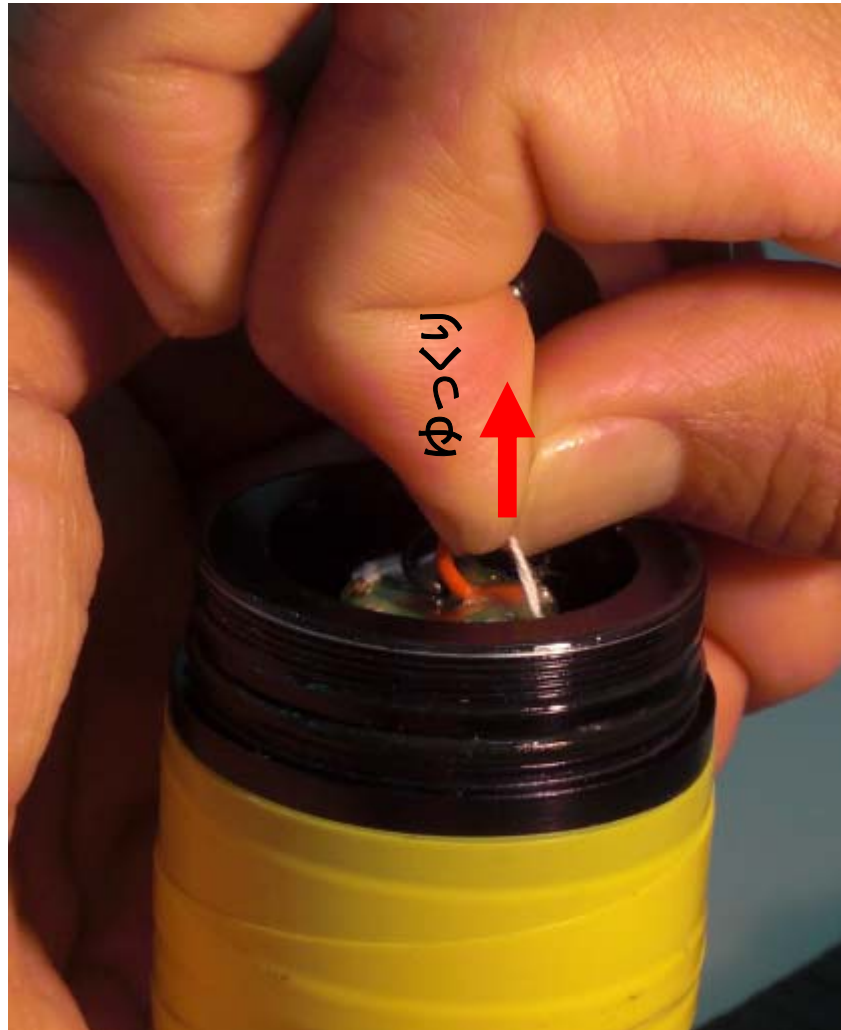
バッテリーケースにはピンが  
あり、これが本体に垂直に  
刺さっています。ゆっくり  
まっすぐ上に抜くとスムーズ  
です。



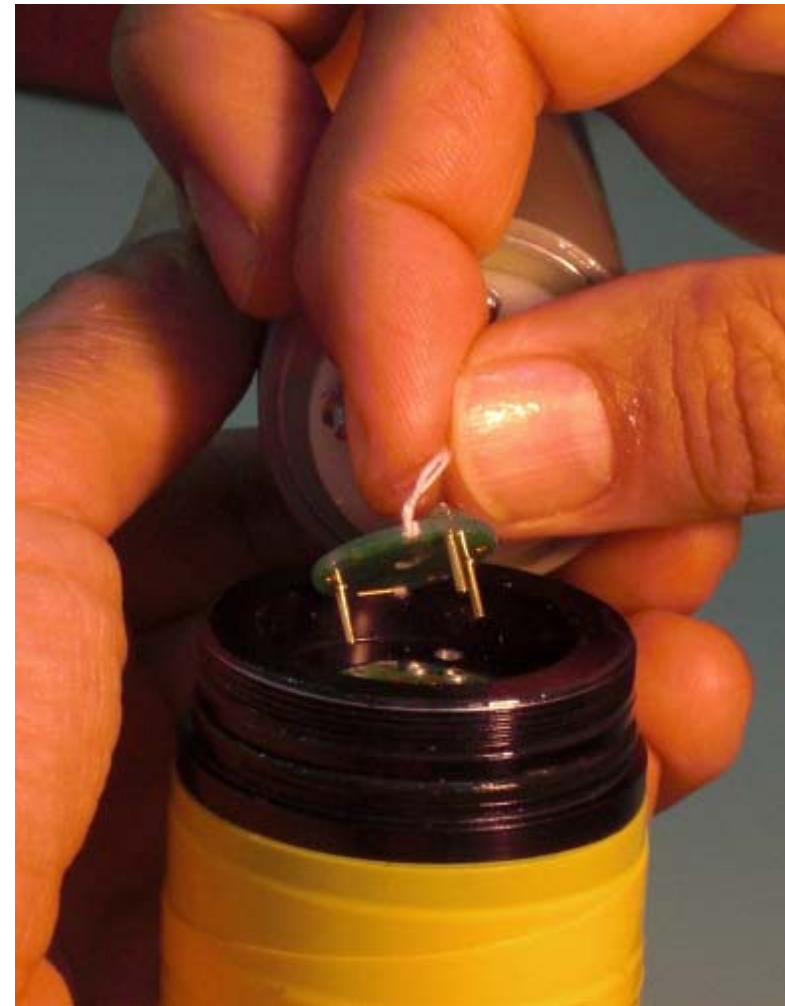
バッテリーケースをゆっくり抜いて  
ください。急に抜きますと、コ  
ードが切れます。

## A-tag システム (定点タイプ)

バッテリーコネクタを外します



白いひもをつまみ、ゆっくり引き抜いてください。



バッテリーコネクタが抜けます

## A-tag (曳航タイプ)設定 PCへの接続

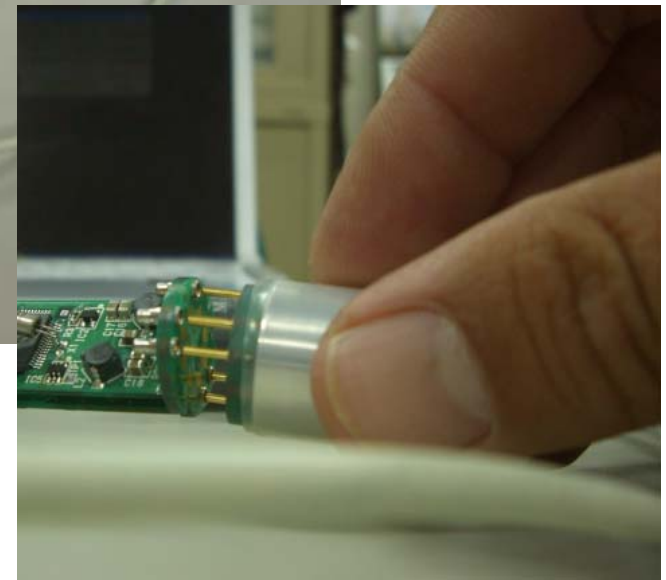
USB-シリアルコンバータはお使いのPCにあったものであれば何でもけっこうです。

↑ バッテリーケースと同じ要領で、インターフェイスケーブルをA-tagに接続してください。

Interface box

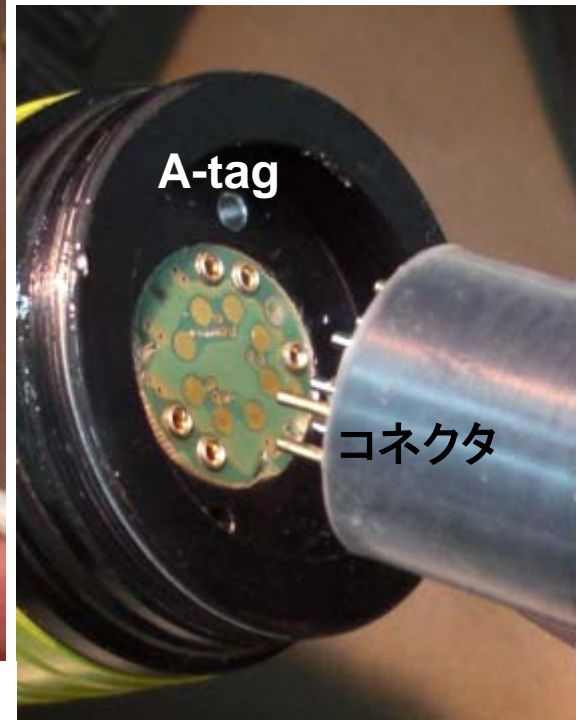
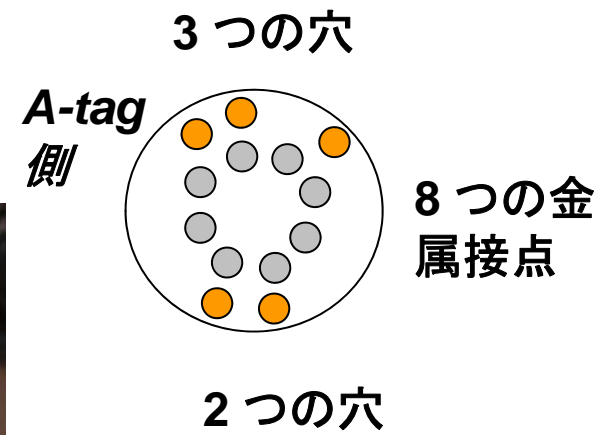
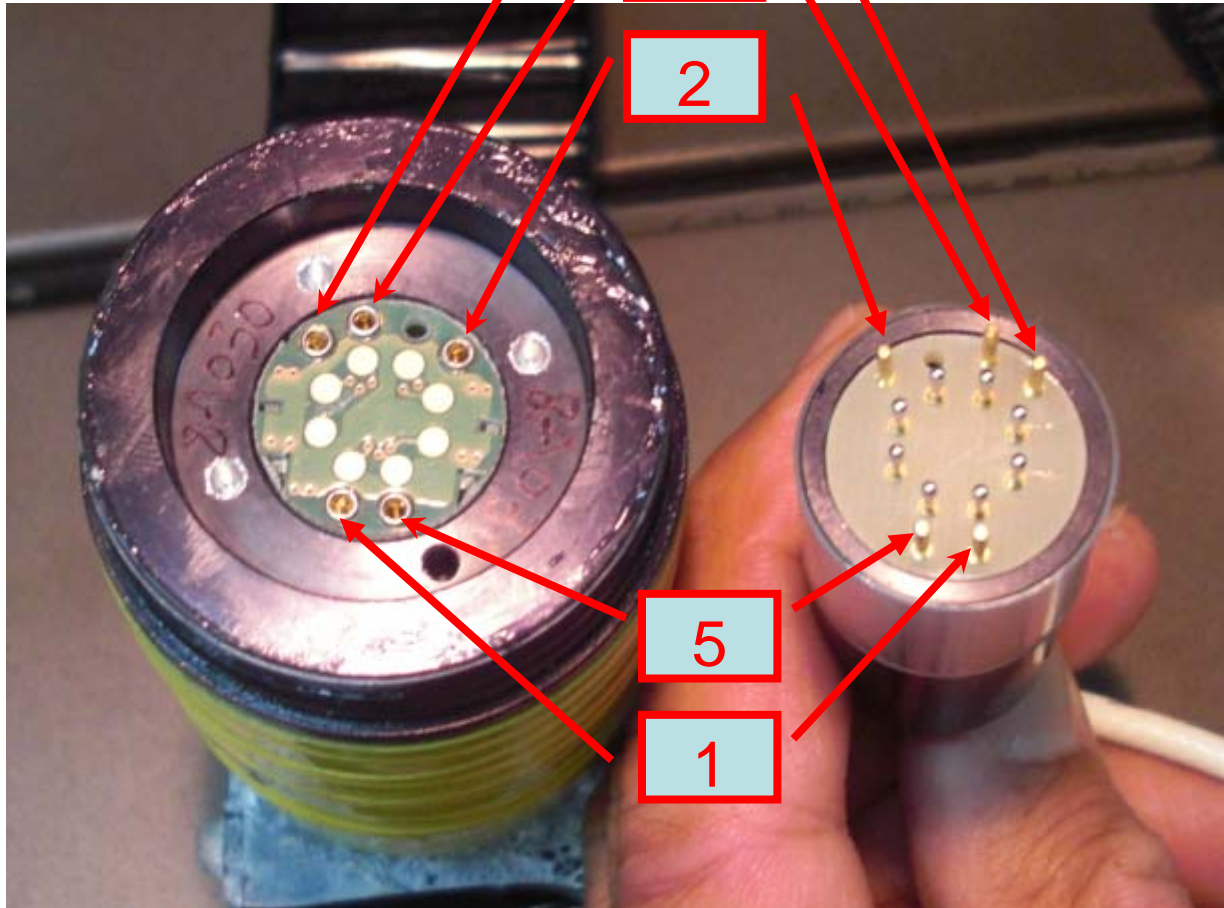
Interface cable

必ず、I/Fケーブルをロガーに接続したあとに、I/F BOXへACアダプタを接続して下さい





A-tag (定点タイプ)の設定  
PCへの接続



金色の穴とピンをご確認ください。1と5を先にいれ、2, 3, 4をあとから入れるとスムーズです。8つの金属接点は銀色のピンに接触し、PCとの通信を行います。

斜め横から

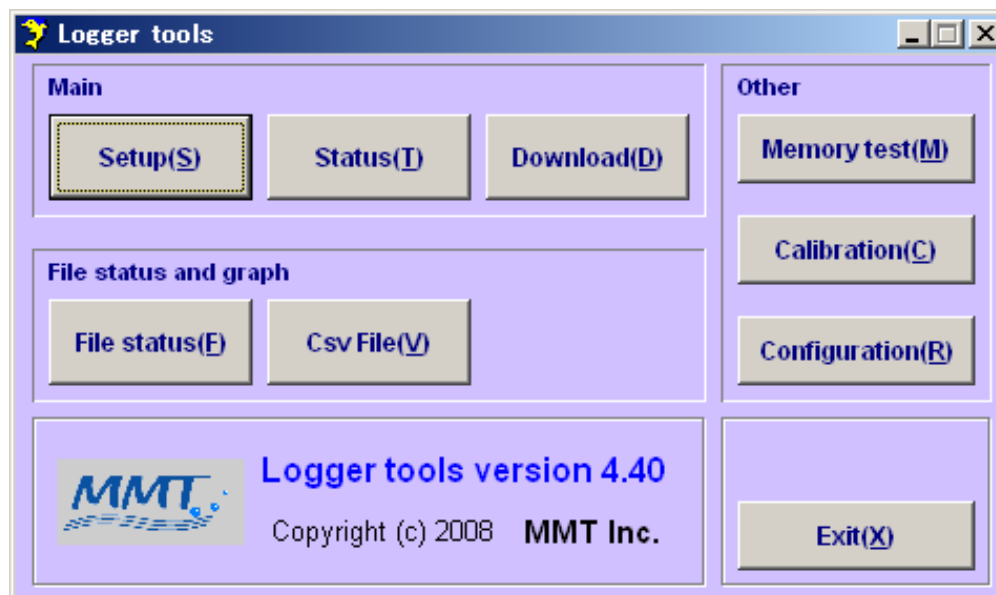
## A-tagの設定 通信ポートの確認

Logger をクリック

次にConfigurationをクリック



35



## A-tagの設定 通信ポートの確認

ポート番号を選んでクリックしてください。通常、最大のポート番号がUSB-シリアルコンバータに割り振られます。コントロールパネルのシステムをご覧いただければ、割り振られたポート番号を確認できます。

The screenshot shows a 'Configuration' dialog box with the following sections:

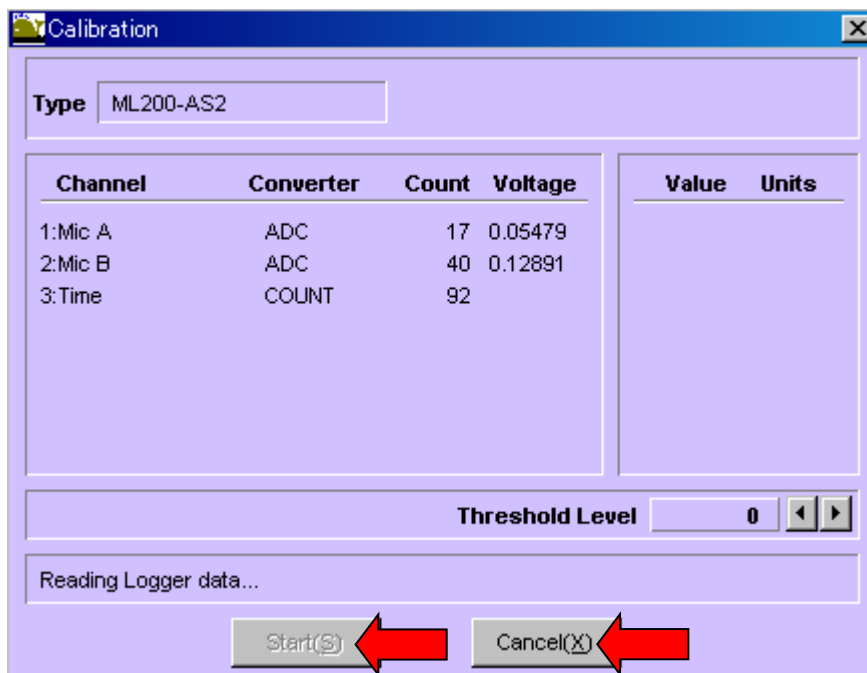
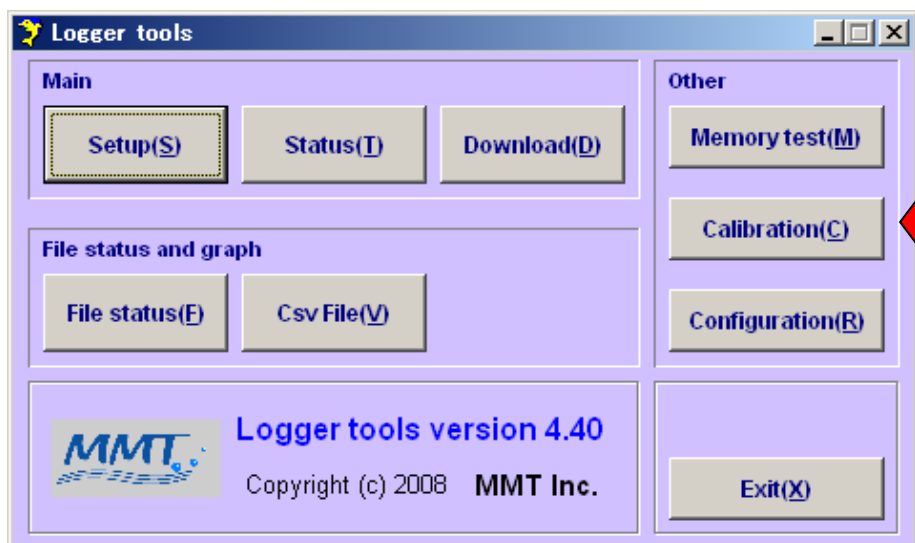
- Default data path (obj):** C:\My Documents\#0706中国\#201011 Hukou\data\
- Default csv file path (csv):** C:\My Documents\#0706中国\#201011 Hukou\data\
- Default wav file path (wav):** C:\My Documents\#0701口ガ一校正\data\
- Conversion table path:** C:\My Documents\#Program\#Logger Tools V435\
- Database file name:** C:\My Documents\#Program\#Logger Tools V435\LOGGERT.TYP
- Graph tool file name:** C:\My Documents\#Program\#Logger Tools V435\Graphtool.Exe
- Alarm file name:** C:\My Documents\#Program\#Logger Tools V435\Lalarm1.Wav
- Alarm enable:**  Alarm enable, Test(P) button with a green play icon.
- Interface:** Port No. dropdown menu (showing COM4, COM3, COM4), BaudRate dropdown menu (showing 230.4Kbps), OK(S) button, and Cancel(X) button.

Red arrows in the original image point to the 'COM4' option in the 'Port No.' dropdown and the 'OK(S)' button.

そのほかの設定はファイルの格納や読み出しの場所(パス)です。インストール時に自動的に設定されます。

Baud Rate は最大値を推奨します。

## A-tagの設定 接続確認



Calibrationをクリック。次にStartをクリック。Mic A, Mic B, Timeの表示数字が時々刻々変われば A-tagは正常動作しています。

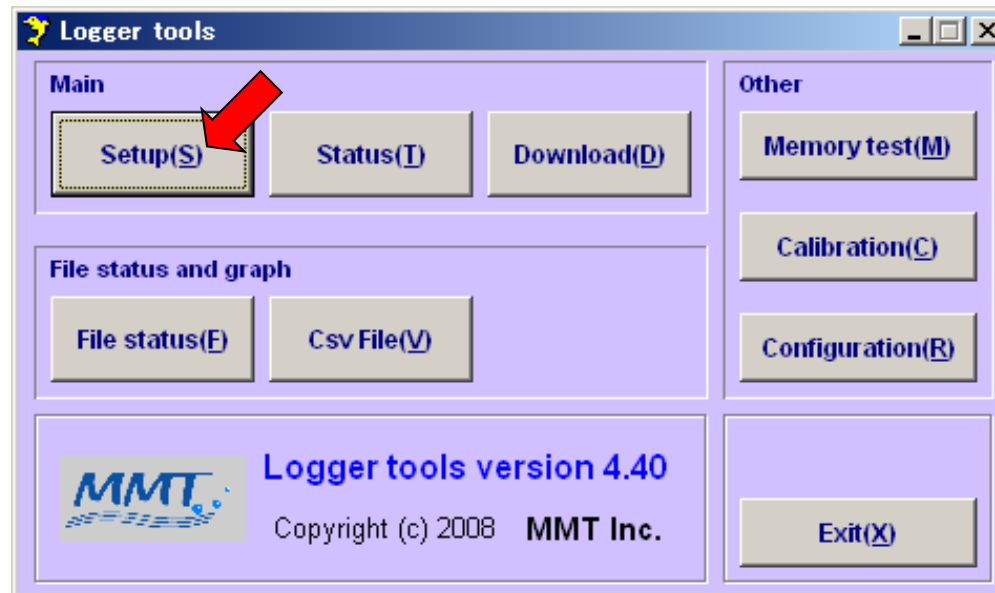
うまくいかなければ、インターフェイスボックスのACコードを引き抜いてもう一度さしてください。このときA-tagとの接続コードは抜かないでください。ACコードをさすとA-tagのLEDが点滅し15秒ほどで消灯します。これでもう一度Calibrationを試みてください。



Mic A, Mic B, Timeの表示数字が時々刻々変われば Cancelを推してメインメニューの戻ってください。Cancelを押さないと、calibrationをずっとつづけます。

## A-tagの設定 観測パラメータの設定

メインメニューのSetupをクリック



## A-tagの設定 観測パラメータの設定

Channel	Settings	Comment
<input checked="" type="checkbox"/> max baseline	short	
<input checked="" type="checkbox"/> Threshold Level	43 Count	
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		

この画面のように、この欄はすべて動作させないでください。設定によってはデータが0になることがあります。

定点型(1タイプ)、曳航型ともshortを選択してください。

閾値は最初は**43**カウントに設定してください。これが最大感度です。30分程度の事前の試験設置をおすすめします。このデータをもとに雑音混入割合が求められ、ご希望の期間もメモリがいっぱいになりません

## A-tagの設定 観測パラメータの設定

Setup

Type ML200-AS2

Start Mode  
 Timer 0 Hour(s)  Date 2012/08/30 11:33:00

Intermittent record Mode  
 On Interval 1 Minute(s) Recording duration 1 Minute(s)  
 Off

Filter **PLEASE DISABLE ALL.**  
 Yes  No  
No triggered signal of Bch  
 Record  Discard  
Direction masking for noise reduction  
 Yes 510 count to 511 count  No

Comment

Channel	Settings	Comment
<input checked="" type="checkbox"/> max baseline	short	
<input checked="" type="checkbox"/> Threshold Level	Count	
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		

メモ리가足りなければ適宜設定してください

Connection status  
Ready.

Alarm

たとえば、1時間で記録された元データファイル(\*.objファイル)のサイズが100kBだったとしましょう。希望観測期間が一ヶ月の場合、消費メモリは74.4MB=0.1MB/h x 24h x 30日です。

A-tagの搭載メモリは128MBですから、観察予定期間内でメモリがいっぱいになりません(ノイズ状況によっては変化します)

もし1時間の試験記録の結果、メモリが足りなくなりそうな場合には、Threshold levelを上げてください。たとえば**90**カウントに上げるとデータ量はずっと減ります。

観測パラメータを設定したらSetupをクリックしてください。

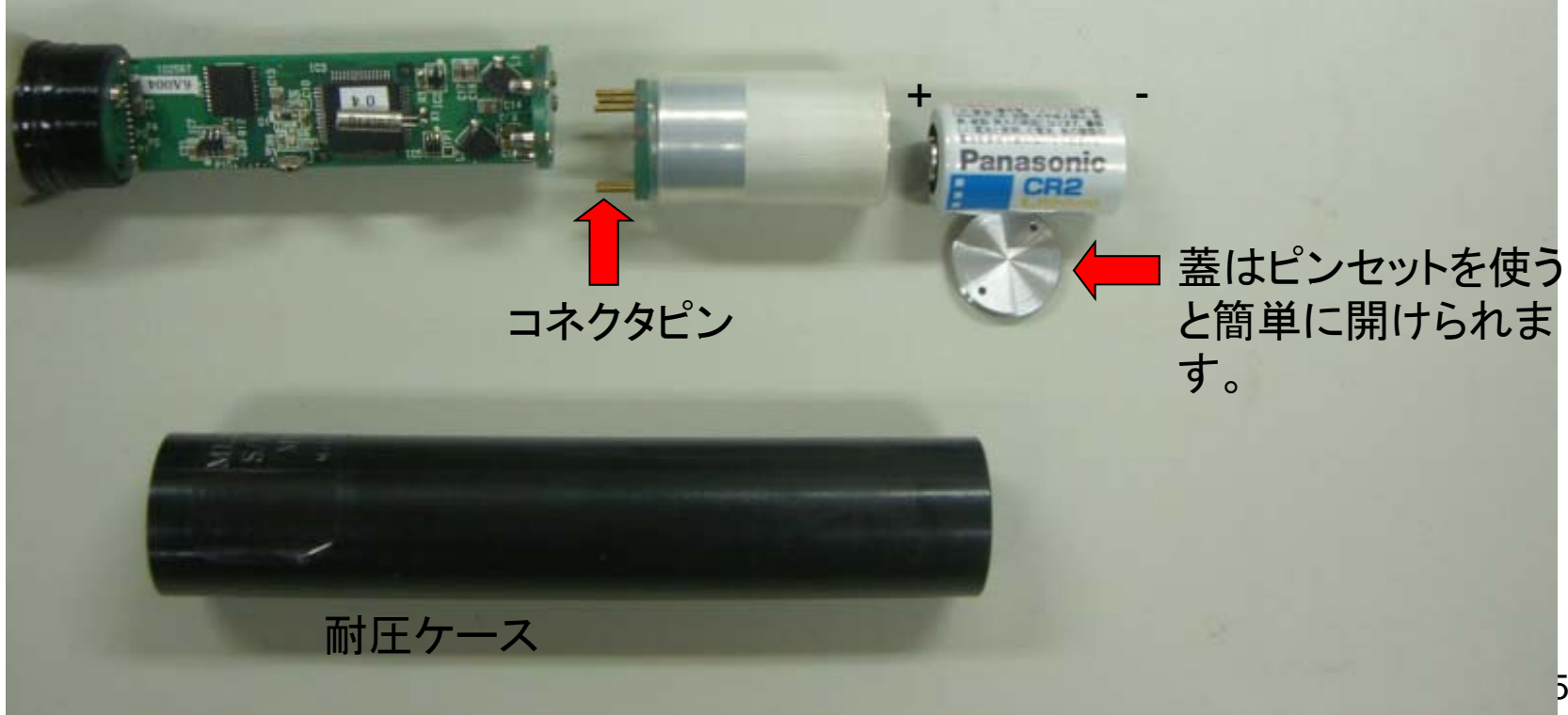
## 曳航タイプのバッテリーケースの準備

1. バッテリーケースの蓋を開ける

2. リチウム電池CR2を入れる

ピンのある方が+; 蓋側が-

3. A-tagの設定が終わるまでバッテリーケースはピンを上にして置いておいてください(短絡防止のため)



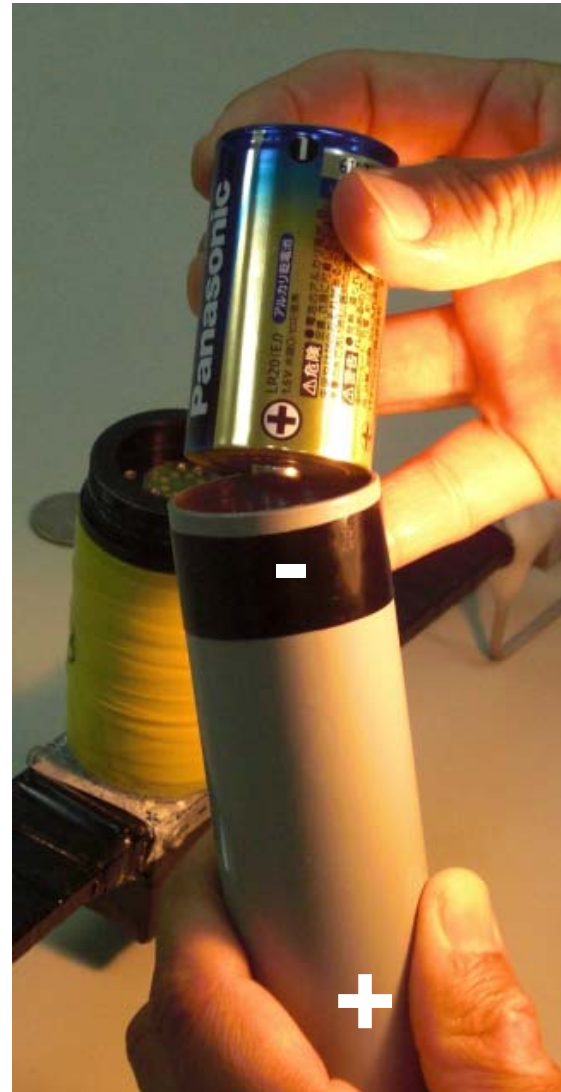


## 定点型のバッテリーケースの準備

単一電池2本をバッテリーケースに入れます



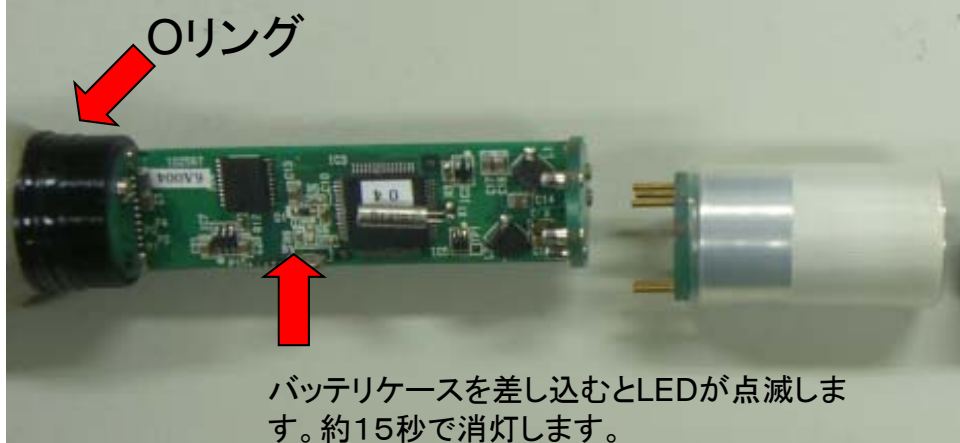
硬貨をつかってケースの蓋を開けます



2つの単一電池をLを奥側にして入れます。

## バッテリーケースの接続 A-tag (曳航タイプの場合)

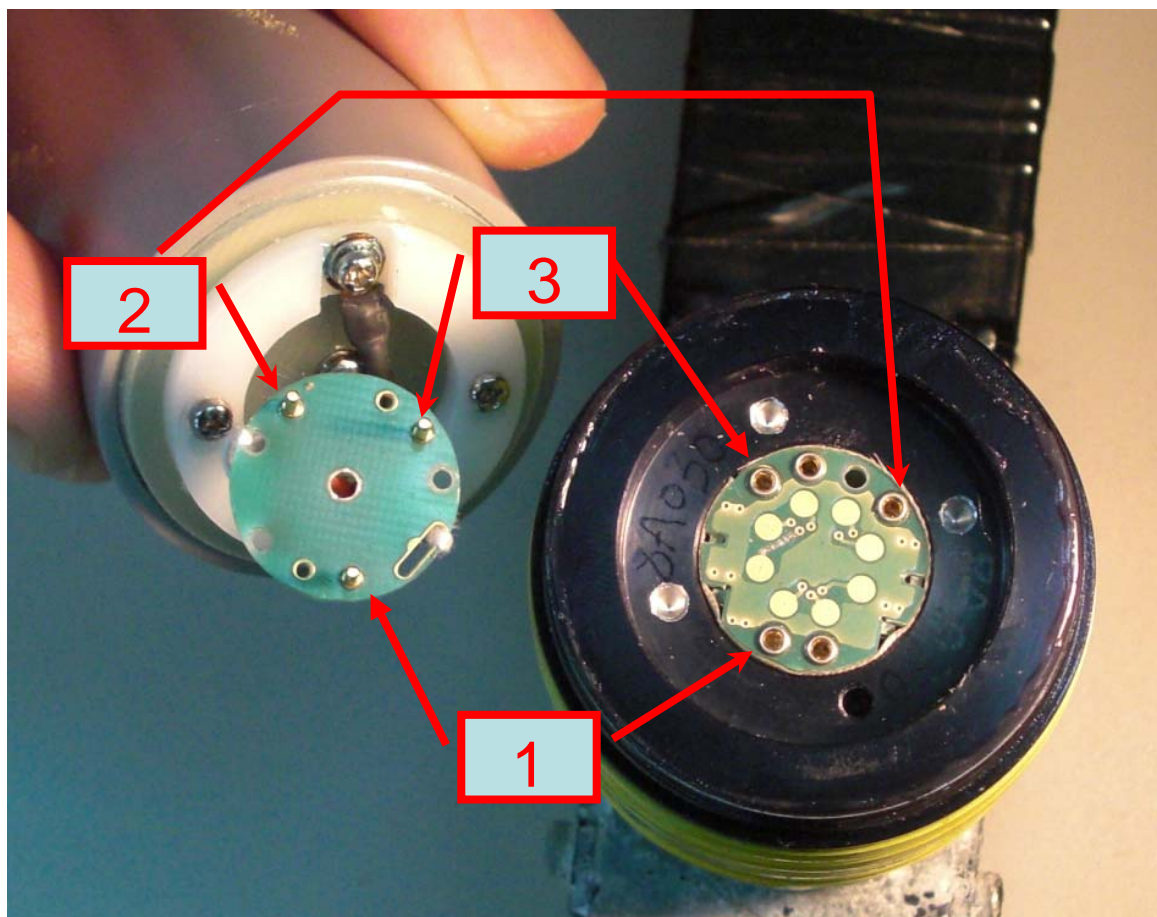
1. A-tagにバッテリーケースを接続します。LEDが点滅します
2. Oリングまわりにシリコングリスを塗ります。
3. 耐圧ケースをねじ込みます。あまりきつく締めないでください。



耐圧ケース

## バッテリーケースの接続 A-tag (定点タイプの場合)

写真のようにコネクタをA-tagに接続します



コネクタとピンの位置をご確認ください。ピン1番を最初に入れ、2, 3番をその後に入れるとスムーズです。

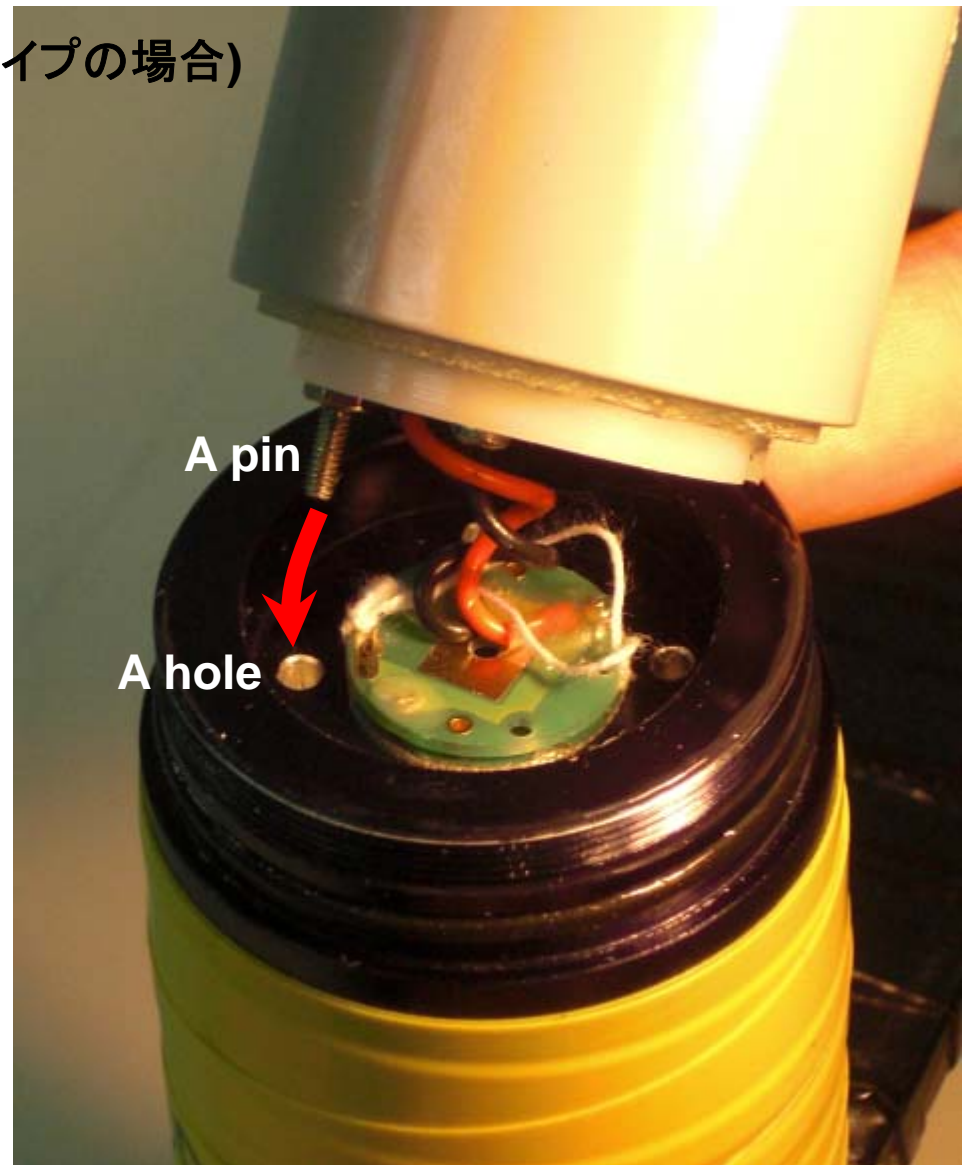


人差し指でコネクタの背中を押して、ピンをA-tagに差し込みます。 18

## バッテリーケースの接続 A-tag (定点タイプの場合)



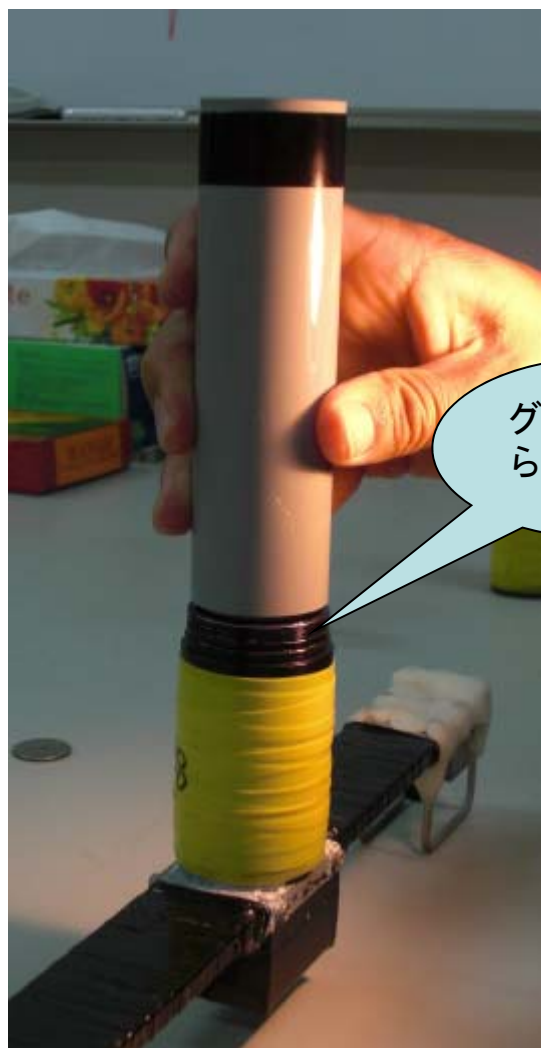
コネクタを最後まで押し込みます。あまり強く押さないでください。



バッテリーケースのピンを4つの穴のうちのどれかに差し込みます。これはバッテリーケースの回転を防ぐためのピンで、電気的な接続はありません。接続コードがあまりねじれないようにご注意ください。

## A-tag システム (定点タイプ)

耐圧ケースでカバー



グリスはこ  
ちらのOリング  
に塗布

接続されたバッテリーケース。落  
ちやすいので垂直に立ててお  
いてください



耐圧ケースをねじ込みます。メモリ  
がいっぱいにならないければ約1ヶ月  
記録を続けます。